

平成28年度

建設雇用改善推進の集い 建設業労働災害防止大会

日 時 平成28年11月25日（金） 午後1時00分～4時50分

会 場 アピオウェディングプラザ甲府 本館 1F 吉兆の間
中巨摩郡昭和町西条3600 ☎055-222-1111

実施者 一般社団法人 山梨県建設業協会
建設業労働災害防止協会 山梨県支部
一般社団法人 山梨県建設産業団体連合会

共催者 山梨労働局
山梨県

次

第

【第一部】

- 1 開会のことば 一般社団法人 山梨県建設業協会 副会長
2 実施者あいさつ 一般社団法人 山梨県建設業協会会长
建設業労働災害防止協会 山梨県支部長
3 共催者あいさつ 山梨労働局長
山梨県知事
4 来賓紹介
5 表彰 ◎建設雇用改善優良事業所表彰
・山梨県知事表彰
・一般社団法人 山梨県建設業協会会长表彰
・一般社団法人 山梨県建設産業団体連合会長表彰
◎独立行政法人 勤労者退職金共済機構表彰
・独立行政法人 勤労者退職金共済機構理事長表彰
◎「私たちの主張」入選者表彰
・国土交通省 土地・建設産業局長表彰 受賞披露
・山梨労働局長表彰
・山梨県知事表彰
・一般社団法人 山梨県建設業協会会长表彰
・一般社団法人 山梨県建設産業団体連合会長表彰
◎高校生「作文コンクール」入選者表彰
・国土交通省 土地・建設産業局長表彰 受賞披露
・一般社団法人 山梨県建設業協会会长表彰
・一般社団法人 山梨県建設産業団体連合会長表彰
◎安全衛生表彰
・建設業労働災害防止協会会长表彰
・建設業労働災害防止協会 山梨県支部長表彰
- 6 「私たちの主張」受賞作品発表
国土交通省 土地・建設産業局長 受賞作品
山梨労働局長表彰 受賞作品
- 7 安全の誓い オレンジ隊 隊長
8 閉会のことば 建設業労働災害防止協会 山梨支部 副支部長

【第二部】

【現場代理人研修】 CPDS 対応

- ◎講演 「建設災害の現状とゼロ災への取り組み」
講師 山梨労働局労働基準部健康安全課 課長 星野 譲 様
◎「事例発表」
・笛吹分会 ・オレンジ隊 ・ブルーキャップス
◎閉会

安全の誓い

私たちは、人命尊重の基本理念の下、日々の安全確保を第一に不断の努力を続け、建設業の労働災害は長期にわたり減少してきました。

しかしながら、建設業の重篤な災害は、全産業の中でも最も多く、目標として掲げた「第7次建設業労働災害防止5カ年計画」の達成には、さらなる安全衛生管理活動等の充実を図る必要があります。

また、今後、建設投資が回復基調で推移することが見込まれる一方、技能労働者の不足や高齢化、将来の担い手の育成・確保など、喫緊に解決しなくてはならない課題もあります。

工事量の増加とともに労働災害が増大することのないよう、安全衛生教育の充実や企業の安全衛生管理能力の一層の向上を図る必要があります。

このため、組織トップのリーダーシップの下、リスクアセスメントをはじめとする効果的な労働災害防止対策を計画的かつ継続的に進め、現場で働く一人ひとりまで、安全を最優先する「安全文化」を定着させることが重要となります。

私たちは、本日の大会を契機として、さらなる安全意識の高揚及び各社で培われた安全衛生管理のノウハウを共有化して、建設業の労働災害を根絶するため、

- 一 山梨県建設業ゼロ災宣言運動の確実な実施及びメンタルヘルス対策の推進
- 一 墜落・転落、建設機械・クレーン等、倒壊・崩壊の三大災害防止対策の徹底
- 一 リスクアセスメントを核とするコスマスの導入及び計画的安全衛生計画の推進

を重点として、労働災害防止活動及び健康の保持増進並びに快適職場環境の形成に組織的に取り組み、だれもが安全で健康に働くことができる職場を実現することを誓います。

平成28年11月25日

山梨県建設業労働災害防止大会

平成28年度

「建設雇用改善推進の集い」・「建設業労働災害防止大会」

表彰者名簿

山梨県・労働局・(一社) 山梨県建設業協会・(一社) 山梨県建設産業団体連合会
・(独) 勤労者退職金共済機構・建設業労働災害防止協会山梨県支部

1 建設雇用改善優良事業所表彰者

表彰区分	事業所名	代表者	所在地
山梨県知事	秋山土建(株)	立川正史	富士吉田市下吉田東1-24-3
	城西ハウジング(株)	大久保耕吉	甲府市長松寺町1-11
一般社団法人 山梨県建設業協会会長			
	日経工業(株)	長澤浩正	甲府市青葉町15-4
	豊栄建設(株)	雨宮敏明	甲州市塩山上於曾1778
	(有)天野組	天野博之	笛吹市御坂町藤野木1409-2
	(有)久保田組	久保田浩人	南巨摩郡早川町湯島740-3
一般社団法人 山梨県建設産業団体連合会会長			
	山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺1514
	(株)永田工業所	永田 章	甲府市千塚5-10-2

2 勤労者退職金共済機構表彰者

独立行政法人 勤労者退職金共済機構理事長表彰		
(株) 森山組	森山美秀	甲府市下今井町697-3
湯澤工業	(株) 湯沢 基	南アルプス市六科1186

3 「私たちの主張」～未来を創造する建設業～表彰者

表彰区分	氏 名	事業所名	題 名
国土交通省 土地・建設産業局長表彰	中込 恭平	丹澤建設工業(株)	若者が語る建設業

国土交通省 佳作 岡 真弓 (株)早野組 「宝物」をつくる仲間たち
山梨労働局長 望月 陽太 飯田鉄工(株) 最初の現場での経験とこれから
山梨県知事 岡 真弓 (株)早野組 「宝物」をつくる仲間たち
一般社団法人山梨県建設業協会会長 平賀 学 長田組土木(株) 建設業と共に
堀内 貴寛 (株)早野組 その想いに応えたい
一般社団法人山梨県建設産業団体連合会会長
佐々木 薫 国際建設(株) 建設業の裏方として
望月 陽太 飯田鉄工(株) 最初の現場での経験とこれから

4 高校生「作文コンクール」表彰者

国土交通省 土地・建設産業局長賞 [建築への想い]
佐野 郁馬 県立 甲府工業高等学校 建築科 3年生
一般社団法人山梨県建設業協会会長
〔建設業のイメージ〕
園田 有紀 県立 都留興譲館高等学校 環境工学科 3年生
一般社団法人山梨県建設産業団体連合会会長
〔「建設業」への想い〕
深澤 翼 県立 甲府工業高等学校 土木科 1年生
〔夢に繋げる〕
小林 舞衣 県立 富士北稜高等学校 建築デザイナーズ系列 2年生

5 安全衛生表彰

表彰区分	受賞者名	事業所名	所在地
建設業労働災害防止協会			
・功労賞	三森 一	甲信建設(株)	甲州市勝沼町菱山1063
	鶴田武人	鶴田組建設(有)	南巨摩郡富士川町鰍沢655-69
	佐野芳男	(株)佐野組	南巨摩郡南部町福士22313
・功績賞	千野浩也	千野瓦工業	
・優良賞	矢崎興業(株)	矢崎勝教	笛吹市八代町北1991
	(株)中新土木	小澤浩人	北杜市高根町藏原1905
	渡建工業(株)	渡辺由美子	南都留郡道志村9650

建設業労働災害防止協会山梨県支部

・功労賞	早野正泰	(株)早野組	甲府市東光寺1-4-10
	野澤孝之	野澤工業(株)	甲州市大和町初鹿野 1953-1
	飯塚 潤	(株)飯塚工業	笛吹市御坂町井之上 1511
	望月 治	(株)川口建設	南巨摩郡身延町切石 687
	久保田浩人	(有)久保田組	南巨摩郡早川町湯島 753
	仲山丈二	峡北建設(株)	北杜市長坂町長坂上条 2429
	桑原 誠	(株)桑原組	大月市猿橋町猿橋 1384
・功績賞	天野朝馨	長田組土木(株)	甲府市飯田 4-10-27
	深沢靖幸	(株)深沢組	中央市上三条 521
	広瀬正記	(株)広瀬土木	山梨市三富荻原 387
	天野直行	(株)栗田工業	笛吹市石和町小石和 1842-1
	中川 久	友愛工業(株)	笛吹市石和町八田 320
	岸本克彦	(有)岸本興業	西八代郡市川三郷町印沢 18-10
	遠藤和宏	藤和建設(株)	西八代郡市川三郷町下大鳥居 327
	松永正賢	(有)松永建設	南巨摩郡身延町和田 1969
	小泉 充	峡北工業(株)	韮崎市岩下 1131
	仲山幸寿	(株)仲山建設	北杜市長坂町渋沢 14
	小林大希	(株)丸大産業	都留市井倉 694
・感謝状	清水かおり	(株)龍美建設	大月市賑岡町奥山 1043

「私たちの主張」～未来を創造する建設業～

入賞作品

国土交通省 土地・建設産業局長賞

署者が語る建設業

中込恭平（丹澤建設工業 株式会社）

「最低でも5年は怒られるぞ」これは、建設会社に入社し右も左もわからない頃、上司が放った言葉だ。

あれから2年が経ち、現在入社3年目。今年は後輩が出来、先輩になったものの上司の言葉どおりまだ怒られることが多い。私の仕事は土木工事の現場管理。人生初の現場は盛土工事だった。初めての仕事に不安と緊張はあったが、「やってやるさ」とやる気満々だったのは最初だけ、自分の描いていた青写真通りにならない日々。雨の日、炎天下でも仕事をした。残業は毎日あった。朝も早かった。肉体的・精神的に辛かった。それでも、辞めたいという気持ちは湧いてこない。それは、厳しい気象条件に関わらず、黙々と働き続ける職人。ただならぬ情熱を持ち、徹底的に現場を管理する上司。身近にいる人たちの仕事に対する想いを肌で感じ、支えとなる言葉を、上司にかけていただいたからだろう。

現場管理と一言で表せるが、仕事の内容はさまざま。作業計画・資材発注・安全管理・出来形管理・品質管理・工程管理、トラブルの対応に職人さんへの指示と、山のように仕事があった。怒られ、四苦八苦しながら仕事をこなす。そんな日常で、上司が言った「初めから仕事が出来る人なんていない。わからないことがあって当然だ。怒られながら仕事を覚えるのが今、君の仕事だぞ。」胸に突き刺さる言葉だ。すぐに野帳を取りだし、最初のページに大きく「怒られるのが今の仕事」と書く。書いた文字を読み返し、精一杯仕事をしようと思った。すると職人さんに委縮しなくなり、自分の方から積極的にはなしかけることができた。そして、建設業最大の魅力に気づいたのだ。それは、多くの人と出会えること。現場で仕事をする職人さんは多種多様で挙げきれないほど。他にも、資材業者・生コン業者・誘導員と盛り沢山。そんな出会いの中、話しかけていると仕事に対する熱い想いが伝わってくる。その想いを前面に出している方は少ないのだが、皆、胸の内で黙々と燃やしているように感じる。そんな熱い想いを持った人々が協力し、構造物は出来上がっている。多くの人たちと1つの目標に向かい知恵を出し合い、工事を終えた時の充実感はたまらない。これまでの苦労が報われ、この仕事を選んで良かったと心の底から思えた。

建設業を語る上で、3Kの話は避けて通れない。「きつい」・「汚い」・「危険」この3つを称して使われる言葉だ。確かにそのとおりだと思う。しかし、そんな言葉で薄れてしまうほど、建設業の魅力は薄っぺらいものではない。建設業の魅力とは、社会基盤を作ること。純粋に、人のためになる仕事だ。皆さんも、雪が積もった早朝から建設会社の人たちが除雪作業をしているのを見たことがあると思う。私が入社した年は、100年に1度と称される大雪が山梨を襲い、県外へ続く道は通行できず物流がストップ、地域によっては機能しなくなり、山梨が陸の孤島となった年。私は高校卒業を控え、アルバイトという形で会社へ通っていたのだが、自分の背丈を遥かに超える積雪で身動きが取れない状態。2日後、車で通行できるようになつたが、歩道側にはまだ見上げるほど雪が積もっていた。私は会社の除雪作業に誘導員として参加。作業をしていると近隣の方から、「ご苦労様です。」と声をかけていただいた。入社前で建設業界のことはさっぱりだったが、構造物を造ることだけが建設業の仕事ではないと強く感じた。そして、「地域を支えているのだ」という激しい感情に襲われ、建設業界に足を踏み入れられたことを嬉しく思った。私たちがやっている仕事は人のためになり、地域を支えている。なくてはならない。そして、誰かがやらねばならない。その誇りと実感があれば、3Kというイメージ以上に「魅力」・「やりがい」・「喜び」のある仕事だと断言できる。

私の今後の目標は、上司から巣立ち自分で現場を管理すること。今以上に責任が重く、精神的な負担が増える。臨機応変に物事に対処する能力を高めなければならない。そのために、上司と一緒に仕事が出来る今のうちに駄目な部分を指摘してもらい、改善する必要がある。つまり、もっと怒られなければならない。それが今、私の仕事であり、将来のためなのだから…。

最後に、「建設業は3Kだけじゃない！」と建設業界で働く一人として声を大にして言いたい。

「私たちの主張」～未来を創造する建設業～

入賞作品

山梨労働局長賞

「宝物」をつくる仲間たち　岡 真弓（株式会社 早野組）

新宿駅十番ホーム。車窓から見える景色は次々と後ろへ流れていく。道を行き交う人、車、建設途中の高層ビルに設置された巨大なクレーン、連なる集合住宅、すべてが同じ速さで過ぎていく。そんな都会の風景からトンネルを通り抜け、緑の山々があふれる山梨に向かう特急あずさ。窓からはグレーの建物が目に入る。学生時代は、この建物を目印に「ああ、もうすぐ甲府駅だ」といつも思っていました。まさか近い将来、この会社の一員になろうとはこの時私は思いませんでした。

2011年3月11日午後2時46分。私は大学3年の就職活動中、中野の高層ビルで大きな揺れに襲われました。15階から壁に亀裂が入った非常階段を下り、やっとの思いで地上に辿り着きました。広場の木々は倒れ、人は揺れから身を守るために地面に座り、交通機関は完全に止まっています。当時テレビの映像を通して、東日本大地震で被災した人々が復興を願いながらお互い支えあい精一杯頑張る姿を目にした時、就職地を山梨か東京かで悩んでいた私の気持ちは固まりました。大学4年間を過ごした東京ではなく、幼い頃から親しんだ山梨で地域の人との繋がりを大切にして働きたいと。

私は大学卒業と同時に建設会社に入社したわけではなく、はじめは証券会社の営業職として就職しました。毎日自転車に乗り汗だくになりながら甲府盆地のお客様のもとを駆け回りました。人とのコミュニケーション、電話対応、この時学んだ社会人の基礎となる知識は今の私の財産です。その後転職先のグループ会社へ移動となり総合建設会社の事務職として働き始めました。

現在私は経営管理部という部署に所属し4年目になります。営業や現場から来た情報をデータ化し、今この会社はどういう状況にあるかいち早く各部門に発信しています。直接お客様との接觸はなく表立った部署ではありませんが、毎日毎日の積み重ねが年度末に作成する決算書類の基データとなる、会社全体に影響する重要な部署です。今は担当する仕事一つ一つがその事に繋がっているという実感が少しだけ湧いています。自分の出来ることを考え一生懸命取り組むこと、事務担当者として丁寧な仕事をすることがより良い現場づくりの支えとなり、お客様が待ち望む建造物の完成への手助けとなることを願い日々業務に励んでいます。

現代、個人も会社もお客様の幅の広い要望に応えるためにたくさんの努力が求められるビジネスシーンで、時には緊迫感漂うこともあるだろうと思います。そんな時女性ならではのちょっとした心配は場所を和ませ、周囲の人々の働きやすい環境作りの一助になると思い、そんな潤滑油のような存在でもあります。入社前の「建設業は男社会！」というイメージは現在私の中で変わりました。それは女性社員が各部門で生き生き働いている姿を目にし、この業界に女性が活躍できる分野がたくさんあるのだと気づかされたからです。

私は建設現場に直接携わることはできません。しかし各部門からの書類を見て、私たち社員の魂のこもった「宝物」が完成したことを知ると、とても嬉しく感じます。

道路、橋、工場、スーパー、学校、病院。何気ない日常の中で自分の関わった建造物が人々の生活を支え、誰かに必要とされている「宝物」になった姿を見ると誇らしさとともに自身の職場の責任を感じます。

先日会社で建てさせて頂いた町の和菓子屋さんを開店日に訪れました。木漏れ日が差し込むような光の照明に木の温かみが感じられる店内にはお客様が色とりどりの和菓子を手に話す姿、子供のような無邪気な笑顔、地域の豊かさや繁栄の空間が広がっていました。目の前にいる人それぞれに人生があり、その人生の一端をささやかながら彩っている建造物、そのように想像すると嬉しくもあり建設業がとても身近に感じます。地域に活気をもたらし、人が入ることで動き出した現場の姿を見に行くことが私の仕事を通じての楽しみです。この会社に来たばかりの頃は周りを見る余裕がありませんでしたが、最近は少しずつ視野が広がってきました。

ふと窓の外に目を向けると、学生時代このグレーの建物を見た、あの特急あずさの走る姿が見えます。この会社の一員に慣れた縁に感謝し、私はこれからも誇りを持って取り組みます。

建設業の女性として是非この「宝物」を作る仲間の一員になりませんか。